

史上最大の
TARO展がやってくる!

人間職
だ?

展覧会 開館30周年記念

岡本太郎

Okamoto Taro: A Retrospective

2023 1.14[土]—3.14[火] 愛知県美術館 [愛知芸術文化センター10階]
aomoo AICHI ARTS CENTER

〔開館時間〕10:00—18:00、金曜日は20:00まで(入館は閉館の30分前まで) 〔休館日〕1月16日[月]、2月6日[月]、2月20日[月]、3月6日[月]

〔観覧料〕一般 1,800円(1,600円)、高大生 1,400円(1,200円) ※()内は前売券および20名以上の団体料金です(前売券などチケットの詳細は公式サイトへ)。

※上記料金で本展覧会中コレクション展もご覧いただけます。※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(愛護手帳)、特定医療費受給者証(指定難病)のいずれかをお持ちの方は、各券種の半額でご観覧いただけます。また付き添いの方は、各種手帳(「第1種」もしくは「1級」)または特定医療費受給者証(指定難病)をお持ちの場合、いずれも1名まで各券種の半額でご観覧いただけます。ローソンチケットほかでお買い求めいただき、当日会場で各種手帳(ミライロID可)または特定医療費受給者証(指定難病)をご提示ください。付き添いの方はお申し出ください。※学生の方は当日会場で学生証をご提示ください。

〔主催〕愛知県美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団、川崎市岡本太郎美術館、NHK名古屋放送局、NHKエンタープライズ中部 〔協賛〕NISSHA、三井住友海上

〔展覧会公式サイト〕<https://taro2022.jp> 〔展覧会公式Twitter〕@okamototaro2022 〔お問い合わせ〕ハローダイヤル 050-5541-8600 (9:00—20:00 年中無休)

※会期等については、今後の諸事情により変更する場合がありますので、展覧会公式サイト等でご確認ください。

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2

〔美術館ウェブサイト〕<https://www-art.aac.pref.aichi.jp/> 〔電車〕地下鉄東山線・名城線「栄」駅/名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、オアシス21連絡通路利用徒歩3分



展覧会公式サイト

名鉄電車で巡る! 「岡本太郎スタンプラリー」

電車に乗って太郎の作品を
見つけに行くスタンプラリー

2023年1月14日(土)~2月28日(火)(オリジナルグッズのお渡しは3月14日(火)まで)

②か所以上のスタンプを集めると

「展覧会 岡本太郎」のオリジナルグッズをプレゼント!

先着 **500名**

スタンプラリー詳細は裏面をご覧ください。

主催「展覧会 岡本太郎」実行委員会 協力 名古屋鉄道株式会社

※お一人様一回まで

岡本太郎作品巡りは
名鉄電車をご利用ください!

●まる乗り1DAYフリーきっぷ
大人 3,200円、小児 1,600円

きっぷの詳細は名鉄HPをご覧ください。



名鉄沿線にはTARO作品がこんなにある！ 名鉄電車に乗ってスタンプを集め、愛知県美術館で特典ゲット！

名鉄電車に乗って各地の岡本太郎作品を見つけよう！2つ以上のスタンプを押した方には、愛知県美術館でオリジナルグッズをプレゼント！

岡本太郎の作品が見られるマップ上の3か所①～③の内の2か所以上を巡って、本チラシにスタンプを押してください（岐阜メモリアルセンターととこなめ陶の森にはスタンプがありません。スタンプの場所は各施設でご確認ください）。

●2つ以上のスタンプが集まったら、愛知県美術館10階受付でオリジナルグッズをお渡しいたします。

（先着500名、お一人様一回まで、なくなり次第終了。グッズが配布終了になった場合、愛知県美術館ウェブサイトにて告知いたします）。

●スタンプラリーの実施期間は2023年1月14日（土）～2月28日（火）です。（オリジナルグッズのお渡しは3月14日（火）まで）

先着
500名
※お一人様一回まで



岐阜メモリアルセンター

（名鉄岐阜駅よりバスにて約20分）

《未来を拓く塔》 スタンプはありません

1988年に開催された「ぎふ中部未来博覧会」のシンボルとして制作されました。高さは16mほどあり、カラフルな旗をまとった勇ましい姿は、力強さと躍動感を放っています。

開館時間：9:00～21:00

住所：岐阜県岐阜市長良福光大野 2675-28

※作品は南ゲート近くの未来の丘にあります。

休館日：毎月第1火曜日、第3火曜日並びに12月29日～

翌年1月3日

※イベントの状況により変更する場合あり



1



日本モンキーパーク

（犬山駅よりバスにて約5分）

《若い太陽の塔》

大阪万博の前年に開催された「万国博と世界お国巡り」というイベントのシンボルとして制作されました。階段で塔をのぼるという、大阪万博の《太陽の塔》には盛り込めなかった案が《若い太陽の塔》では実現しています。

開館時間：10:00～16:00

住所：愛知県犬山市大字犬山字官林 26

※作品は催事館周辺エリアから坂道を登った所にあります。

休園日：あり。ご来園前にHPでご確認をお願いします。

入園料：大人（中学生以上）1,300円/子ども（2才以上）900円



とこなめ陶の森資料館

（バス停「INAXライブミュージアム前」下車徒歩約7分）

《絵皿》 スタンプはありません

「常滑の岡本太郎1969」と題して、常設展示エリア「未来に伝えたい常滑焼」に岡本太郎が常滑で絵付けをした皿、旧常滑市役所で講演会を行った際の写真を展示します。

会期：3月14日（火）まで

開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）

住所：愛知県常滑市瀬木町 4丁目 203

休館日：月曜日

観覧料：無料



3

INAXライブミュージアム

（常滑駅よりバスにて約10分）

《「太陽の神話」の原画》

「常滑の岡本太郎1952」展を開催。伊奈製陶（現LIXIL）で制作されたモザイクタイル画《太陽の神話》の原画（油彩）や陶彫《顔》と作品のマケットなど、常滑での足跡を作品や関連資料とともに紹介します。

会期：3月14日（火）まで。

開館時間：10:00～17:00（入館は16:30まで）

住所：愛知県常滑市奥栄町 1丁目 130

※本展は「葉のある広場・資料館」2階にて開催。

休館日：水曜日

共通入館料：一般 700円 / 高・大学生 500円 /

小・中学生 250円 / シニア（70歳以上）600円 /

障がい者手帳保持者・付き添い1人まで無料

同時開催：

「Fashion On Tiles —あの時代、この国のおしゃれさん—」



2

おかざき世界子ども美術博物館

（美合駅よりタクシーにて約5分）

《午後の日》

素材やサイズなどいくつかのヴァリエーションのある《午後の日》は、作者自身も気に入っていた作品で、いわば自画像のような作品でした。東京の多磨霊園にある岡本太郎の墓の墓碑にもなっています。

開館時間：9:00～17:00（入館は16:30まで）

住所：愛知県岡崎市岡町字鳥居戸 1番地 1

※作品は館内のロビーにあります。

休館日：月曜日、祝日の翌平日（2月24日（金））、

展示替え休館日（3月6日（月）～3月10日（金））

観覧料：企画展ごとに変わります。岡崎市内の小中学生は無料（わくわくカードまたは生徒手帳を提示してください）。

各種障がい者手帳所持者と介添者1名は無料

（該当の手帳を提示してください）。

開催中の企画展：

・「わくわく鉄道博物館2022 名鉄特急とジオラマの世界～パノラマカーを中心に～」

会期：12月3日（土）～3月5日（日）

観覧料：

一般（高校生以上）500円（400円） /

小中学生 100円（80円）

※（ ）内は20名以上の団体料金



太郎の作品をみつけてスタンプを押そう！

--	--	--

① 日本モンキーパーク

② おかざき世界子ども美術博物館

③ INAXライブミュージアム

〔スタンプラリーのお問い合わせ〕 ハローダイヤル 050-5541-8600（9:00～20:00 年中無休）

※スタンプが2つ以上集まったら、愛知県美術館10階でオリジナルグッズをお渡しします。